小学1･2学年への森林教室を実施しました

９月２日（水）八幡平市安比高原にて、八幡平市安比高原にて、八幡平市立松野・寄木・柏台小学校１・２学年児童３３名へ森林教室を行いました。

当日は、安比高原ブナ二次林を観察し、樹木・木の実・虫・植物に実際に触れ合い、その後は、森の大切さの紙芝居を「見て」「聞いて」もらい、森林の役目や安比の森林について学んでもらいました。

熱心な観察姿勢に想定外の時間を費やしてしまい、やむなく急いでゴール地点に戻ることになってしまいましたが、児童たちは満足した表情でした。

また、当日の悪天候予報も吹き飛ばし、天候にも非常に恵まれ、職員も児童の素朴な姿に心が満たされ充実した時間を過ごすことができました。

ブナ二次林の観察

ブナ母樹の前で記念撮影

ブナの母樹の太さを測る

どんぐり！

どんな音が聞こえたかな？

紙芝居で森林の大切さを

後半は、放牧中の馬６頭とのふれあいを経験してもらい、馬に大好物のブタナを食べさせ、毛並みや生態、野芝の再生活動について安比高原ふるさと倶楽部の方にご説明いただき、大変貴重な体験にもなりました。

残念ながら３校とも閉校となり、最後の森林教室になりました。それぞれの学校の長年の森林教育活動に感謝しつつ、今後も、管内の児童に視覚や木に触れてみる体験を多くして、森林の大切さや自然を直に感じてもらえる森林学習を続けていきます。

馬とのふれあい

馬に大好物ブタナを